

# リ・スキリング実践 体験報告

早稲田大学スマートエスイー IoT/AI コース受講を終えて

2026/02/26

第2回人材育成分科会

藤田晶子

三菱電機株式会社

# 背景、経歴 the way so far....

---

## 経歴概略

私大理工学部電気電子工学科卒業(学士)→ 電機メーカー勤務のべ25年

アナログ回路設計、ドキュメント制作、アフターサービス系業務を経て・・・会社清算、一旦無職に。

1回目の大リ・スキリング: 都の再就職支援コース 専門学校でのプログラミング講座(java、sql、html 他)  
三菱電機に再就職後、現在に至る。

## 現在の職務

主務:顧客問合せ対応の後衛、12年目(古株)・・・環境提供、対応助言、その他社内外苦情対応  
窓口運營業務の一環としてWEBサイトの更新、システム障害対応にもあたるが、  
システム構築・運用はしない。あくまで利用者、発注側の立場。

## 昨今の情勢

オペレーター人員確保、留職が年々困難に。SNS、動画サイト、生成AIの流行によりますます求められる、  
手軽な早期“自己解決”。

⇒ 業務効率改善(維持)のため、AIを組み込まないと **生き残れない** 懸念

↑↓ ジレンマ ↓↑

そもそも、**AIって何?** どう動いているのか? 理解できないものを使うリスク

AIの知識を得なければならない焦燥感・・・

# リ・スキリング講座受講にいたる経緯

AIについて学びたい **フルタイム勤務の子持ち非SE会社員** の立場でできそうなこと

1. **オンライン記事**や物の本で学ぶ・・・情報が**細切れ**の傾向。**基礎のキ**がないとわからない。
2. **有料社外研修**・・・**高い**。応用、上級者向け。途中であきらめる可能性も。
3. **社内研修**・・・**承認**を受けにくい。募集**時期が固定**。内容・適性が不明瞭(**対象外**)。集合研修は困難。

つまり、**費用、時間帯・期間、場所、予測できる内容、受講資格**・・・ etc など懸念がたくさん。

さらなるジレンマに焼かれているところへ、都合よくスマートエスイーコース **受講の募集** が...

ご参考...

三菱電機では独自のデジタル基盤「Serendie」を軸に事業・製造・業務のDXを加速し、2030年度までにグループで2万人のDX人材確保を目指しています。  
2025年4月に設立した「DXイノベーションアカデミー(DIA)」では7つの学習コース体系と**4段階の認定制度で社内育成を強化、産学連携**や全社員向けのリテラシー講座で風土醸成も図り、Serendie 関連事業を収益の柱に育てる方針です。

つまり、三菱電機では、DX人材の確保・育成推進の一環で早稲田大学と箇所間協定を結び、社内研修(DIA)としてスマートエスイーコースの受講枠を確保。さらに、**初回なので費用は人材開発センターもち**。

せっかくの機会、逃す手はない。こんな好条件二度とない。チャンスの神様ありがとう。

# リ・スキリング講座受講を決めた動機

**Q** なぜ早稲田大学スマートエスイー IoT/AI コースを受講したのか

**A** たまたま。運がよかった。

∴ 通常、研修・講習を受けるにあたっての懸念点が **ことごとく払拭**

費用	✓	<b>なし</b> 。(調べたところ約60万円かかることが発覚) 研修なので個人負担なし、さらに人材開発センター側が全額負担、部門負担もなし
時間帯、期間	✓	平日 <b>夜</b> (約3時間)、 <b>土日</b> (約6時間)のみ。半期で完了。 <b>なんとかできるはず</b> 。
場所	✓	ほぼ100% <b>オンライン</b> 。集合研修は選択的(必須ではない)で都内実施。
内容	✓	“ <b>フルスタック</b> ”な人材育成を目標として、ハードからビジネスモデル構築まで、また <b>初級、応用両方</b> 講座あり、すべて受講することも選択的に受講することも可能。
受講要件	✓	大学入学資格、システム/通信関連業務経験 もしくは IoTシステム技術検定中級 → <b>受験して合格</b> 、プログラミング基礎知識(望ましい)。 ✓ 他経験・知識、年齢的なもの(プロフィール)は <b>過去受講者の声</b> 、が後押し。 上司から「 <b>業務に生かすのは必須条件ではない</b> 。個人的に習得ができれば良し。」

結果、**運よく**チャンスの神様の前髪をつかむことができた。

# 受講中の良かったこと、困ったこと、所感

## スマートエスイー IoT/AI コースの学習内容、概要

ハード(センサなど)、通信、インフラ、プログラミング、AIモデル解説・制作(深層学習等)、品質管理、ビジネスモデル構築、そして各実習実技、修了制作…**全19科目、約200時間**。

学科3年分を半年に縮めたような**本当にフルスタックな講座**でした。

教科書にノートを足したような講義資料、必要な機器・設定・予習の事前案内、(グループ)実習、復習用録画配信、講師への直接質問チャンネル、**受講者間コミュニケーションツール** 他 学習補助が充実。

## それでも、中盤くじけそうに。なぜか

- ・ 繁忙期にもかかわらず**業務を肩代わり**してもらおうことしばしば。
- ・ 単語が**分からない**。新たな「概念」がしばしば登場。(副産物:わきで調べる→生成AI利用に慣れる)
- ・ とにかくレポートが…四半世紀ぶりの、**レポート地獄**(副産物:生成AIと仲良く)  
……チャンスの神様の前髪、意外と脂っぽくてぬるぬるしていました(個人の感想)。

## 支えになったもの モチベーションにつながったもの、“くさび”になったもの

**Posi** 知識を積めることの喜び。**他受講者との交流**。上司からのいたわり。

**Nega** 費用を負担してもらっている、周囲に余分の業務負担かけている、その罪悪感と羞恥心。



中盤以降を支えたのは、モチベーションより“くさび” = **義務感**。

長い、重い、キツイ研修をやり抜くには、飴だけでなくムチも必要(個人の感想)。

# 受講後のふりかえり、リ・スキリング効果実感

受講で得たもの、効果（早稲田大学より、履修証明書、オープンバッジ授与。賞もいただきました。）

スキルと知識の習得以外、直接的利益はない。（想定通り）

効果としても、いきなりシステム開発の第一線に躍り出るようなことはなく、現時点で定量的なもの、カタチになっているものはないが・・・

- ・ AIを利用したサービスの構築に於いて、議論の内容が理解できるように。 ⇒ **土俵に乗れた。**
- ・ 不具合対処において自力で解答にたどり着けるように。 ⇒ **業務の幅が広がりつつある。**
- ・ 社内外に受講者仲間のつながりを得た。

今後の見込み ※現在も「7つの学習コース体系」に沿って、追加で社内研修受講中。

- ・ 「4段階の認定制度」をもとにしてシステム開発へ直接関与（ジョブチェンジも画策できる、かもしれない）。
- ・ **修了制作内容のアプリケーション実装** → サービスインに向けてインフラ構築準備中  
（スマートエスイー IoT/AI コースでは、**1年後の受講効果測定報告**有り、ここに向けて尽力中・・・）

---

スキルと知識以外でリ・スキリング受講を通して最も身にしみて学んだこと：**身の程を弁える**

∴ 開発の構想段階では「何をやりたいか」を盛り上げるべきだが、設計・実践の段階では「何が必要か」、また、「何ができるのか」に焦点を当ててとにかく絞るべき。

リ・スキリングにおいても同様に、「やりたいこと」を探すための情報がまずは必要、さらに、一歩進んで、「何ができるようになるのか」が見えて、「どれが必要か」を選定して決心する補助も必要と考えます。

